

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	広島西こども発達支援センターくれよん（保育所等訪問支援）			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 2日		～	2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数)	35
○従業者評価実施期間	2024年 12月 2日		～	2024年 12月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○訪問先施設評価実施期間	2024年 12月 2日		～	2024年 12月 20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	17
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有している。	報告書を作成し、時間調整を行い速やかに報告している。	現在の取組を継続していく。
2	訪問員の支援に対する知識・技術等がある。	子どもの姿を読み取り、課題、関わり方などを具体的に伝えるようにしている。	訪問支援員として更なる自己研鑽を積んでいく。
3	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制が整っている。	センターとしてのつながりを活かすようにしている。	関係機関に、よりセンターを知ってもらえるように努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援の頻度や時間について、保護者の希望に沿った決定が難しい。	マンパワーが不足している。	マンパワーを充実させ、頻度や時間等の希望に応える。
2	利用希望者に対して、職員の配置数が不十分である。	マンパワーが不足している。	マンパワーを充実させ、利用希望者を受け入れていく。
3			